



地球暮らし

地球温暖化防止と
環境共生住宅を考える

第 6 号
発行日 2006.6.20

株式会社さつまホーム企画室
地球やりなおし計画
事務局

温暖化ガス排出量、0.2%減少！・・・なんだけど・・・

みなさんこんにちは、さつまホームの瀧川です。今回の表題は、ちょっと嬉しいやら何やらです。環境省は25日、2004年度の温暖化ガス排出量は13億5500万トン(二酸化炭素換算)だったと発表しました。前年度より300万トン(0.2%)減り、3年ぶりに減少！・・・でも、京都議定書の基準年(1990年)比では8%上回っていて、削減目標6%と合わせて、まだ14%も残っているんです。また排出源別にみると、工場などからの排出は90年比で3.4%減っていますが、家庭からは同31.5%増、自動車や船など運輸部門も同20.3%増加です。やっぱり私たち「民間人」が頑張らないと、達成はおぼつきません。そういう訳で、今回は自動車に注目してみます。



そのドライブ、必要ですか？ ～脱ドライブとエコドライブのすすめ～

今 中国では自動車が猛烈な勢いで増加しているそうです。「自家用車や電気製品を持つことがステータス」といった風潮は、一昔前の日本の姿に生き写しです。私たちもやったことなのだからダメとは言えないけれど、人口の規模が一桁違うことが恐ろしいです。中国と言えば、北京市内をおびただしい数の自転車が走っていた映像が頭に浮かぶ人もいます。彼らは自転車を卒業して本格的な自動車社会を迎えようとしているようです。私たちは・・・

てあげても良い気がします。

そ うは言っても、自動車でなければならない場面もたくさんありますね。自動車を使う上で、環境に配慮でき、節約に

もつながることはたくさんあります。例えば・・・

この資料は独立行政法人環境再生保全機構のサイトを参考に作成しています。

私 たちは自動車社会の素晴らしさも問題点も、十分知り尽くしているはず。そろそろ自動車一辺倒の社会を卒業してもよいのではないのでしょうか？先日、都市交通の専門家が東京都心で、様々な交通機関の移動効率を「まじめに」測定した結果、自転車がダントツの1位、続く地下鉄やタクシーの半分ほどの時間で移動できるという結果がでました。自転車をもっと見直し

1.発進前に一呼吸

“急”がつく運転は燃費を悪くします。アクセルを大きく踏み込むとエンジンに負担がかかり、燃焼温度が上がって窒素酸化物の排出量が増えてしまいます。



・穏やかな発進10回で約2km走行分の燃料節約

2.不要な荷物を載せない

不要な荷物は車体を重くし、エンジンに余計な負担がかかるため、燃料を浪費して窒素酸化物排出量も増えます。



・10kgの荷物を降ろすと約180m走行分の燃料節約(50km走行した場合)

毎日実行すると1年で約4万円もの節約に！

(燃費10km/、燃料費134円/として)

3.計画的なドライブを

無計画な運転で目的地までの道に迷うと、時間と燃料のムダです。出発前にルートの確認を行うことがエコドライブにつながります。



・無駄な走行10分削減で約4km走行分の燃料節約

4.定期的点検整備

タイヤの空気圧不足などわずかな整備不良も燃費を悪化させることがあります。ガソリンスタンドの無料点検サービスを活用しましょう。



・空気圧の調整で約2km走行分の燃料節約(空気圧20%減で50km走行した場合との比較)



トピック

改正地球温暖化対策推進法が成立

5/31の参院本会議で全会一致で可決、成立。国連が定めた排出権取引のために必要となる「割当量口座簿」を政府が作成する内容が柱。

人口減っても環境負荷は増加・06年版環境白書

環境省の試算では、家庭のエネルギー消費量は2010年までは増え続け、人口減でも1人暮らしの増加などで世帯数の増加に伴い1人あたり消費エネルギーが増えるため05年比0.8%増となる。00年比では4%増の水準。

情報リンク

'地球暮らし'のサイト

バックナンバーを読むことができます。

<http://www.satsumahome.com/weblog/earth/>

住まいづくりの新潮流

住宅にも“LOHAS”の波～健康と環境に配慮した家づくりについて専門家がわかりやすく解説しています。

<http://sumai.nikkei.co.jp/special/tenbou/>

編集後記 今年もクールビズ

政府は「今年もクールビズ」でいくと発表しましたね。オーケーです。さつまホームも昨年からは夏はノーネクタイの軽装でやらせていただいています。今日も結構気温が上がってきてますが、エアコン使ってません。がんばって地球温暖化防止に取り組んでます！

このニュースレターに対するご意見、ご要望、投稿をお待ちしております。

Eメール: info@satsumahome.com

FAX : 06 - 6855 - 7700

郵便: 〒560-0053 豊中市向ヶ丘3-11-47

ステップビル3F (株)さつまホーム企画室

さつまホームは地球温暖化防止に取り組んでいます

